

# 平成25年度t-PA治療実績 (平成25年4月～平成26年3月)

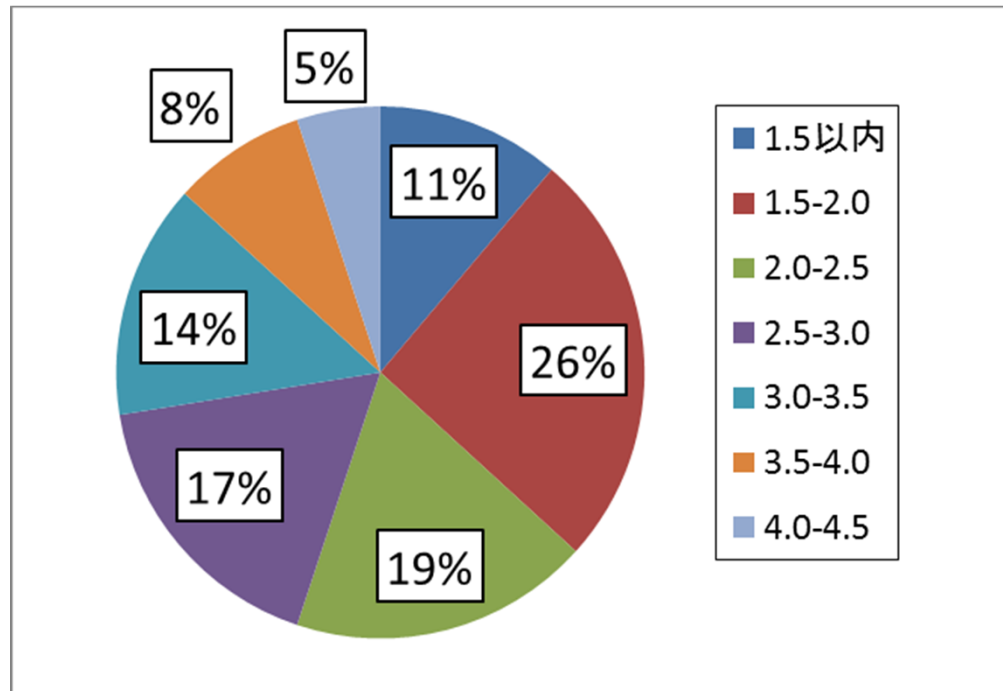
## 1 報告件数

| 性別  | 人数(割合)     |
|-----|------------|
| 男性  | 168人 (59%) |
| 女性  | 119人 (41%) |
| 報告数 | 287人       |

## 2 年齢分布

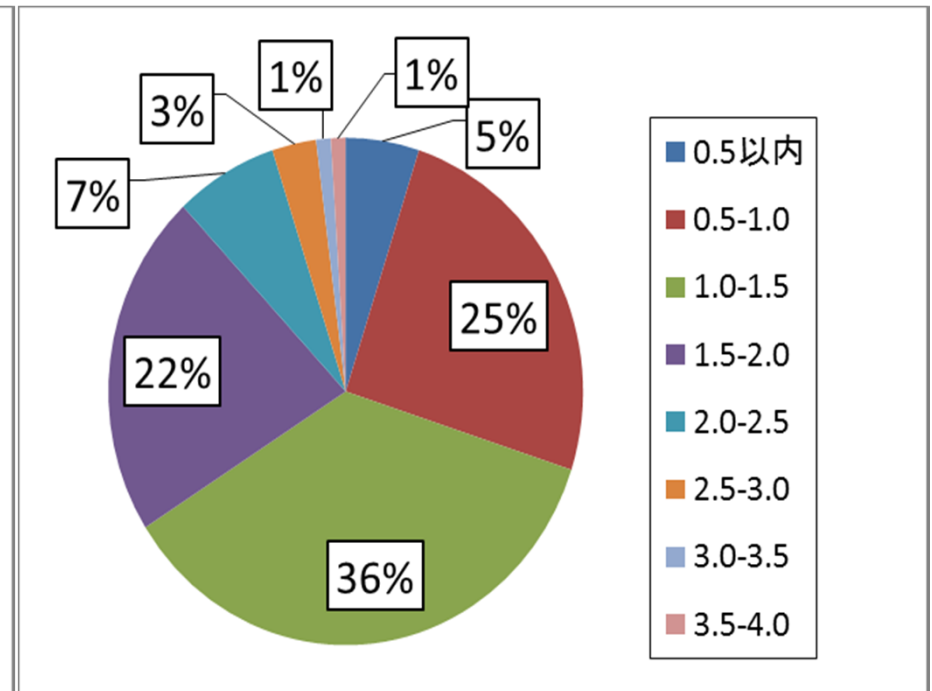
| 年齢    | 人数(割合)     |
|-------|------------|
| ～19   | 0人 (0%)    |
| 20～64 | 47人 (16%)  |
| 65～74 | 80人 (28%)  |
| 75～   | 160人 (56%) |

### 3 発症時刻からt-PA療法開始までの時間(hr)



平均時間148分

### 4 病院到着からt-PA療法開始までの時間(hr)



平均時間87分

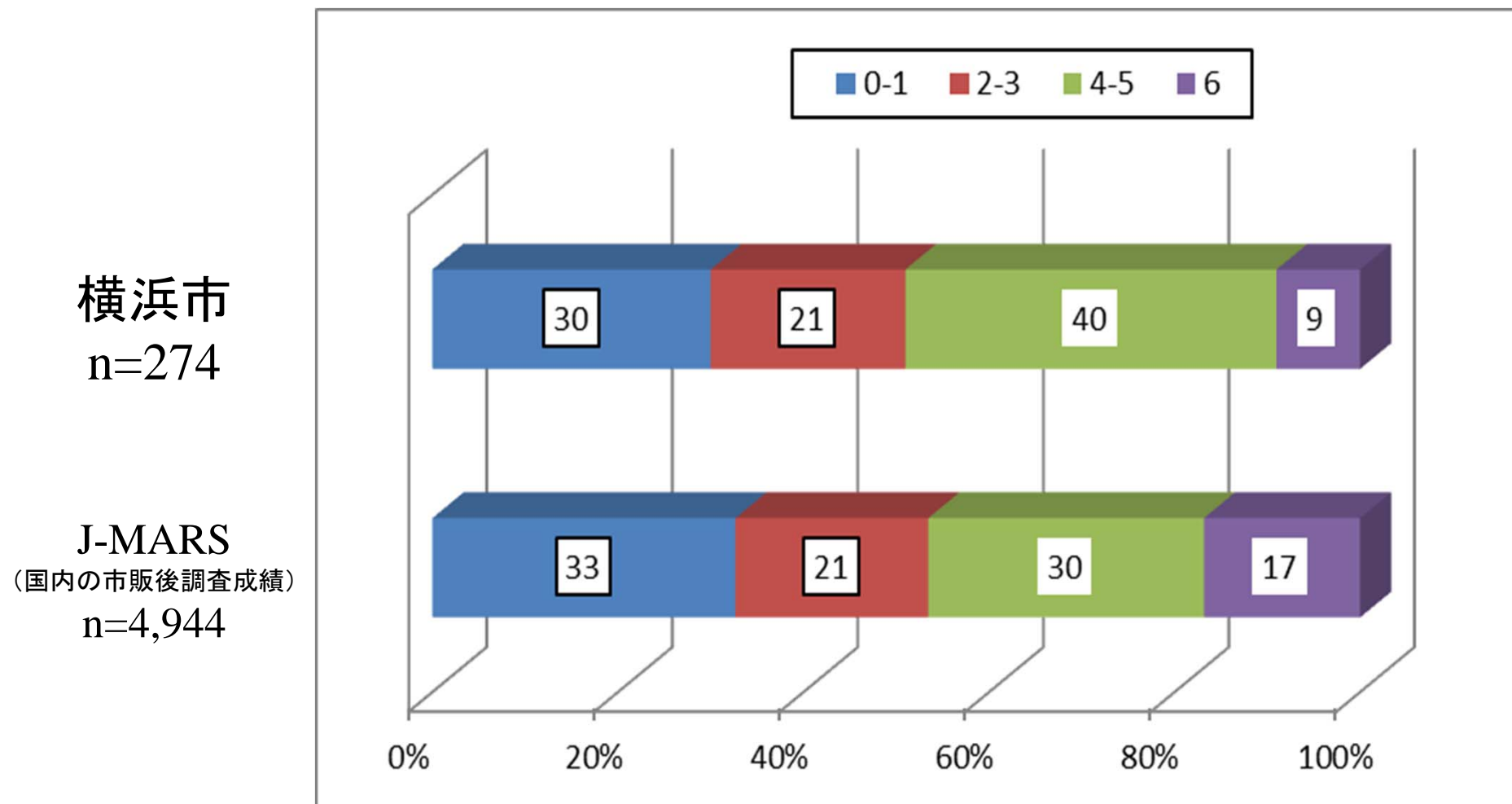
## 5-1 平成25年度横浜市のt-PA治療実績と市販後調査成績との比較

| mRS<br>【3か月後】                   | 0-1 | 2-3 | 4-5 | 6   |
|---------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 横浜市<br>【n=274】                  | 30% | 21% | 40% | 9%  |
| J-MARS(国内の市販後調査成績)<br>【n=4,944】 | 33% | 21% | 30% | 17% |

※mRS・・・障害の程度を表す基準のこと(下表は日本脳卒中学会の資料を引用)

|   |                           |
|---|---------------------------|
| 0 | まったく症状なし                  |
| 1 | 日常の勤めや活動は行える              |
| 2 | 身の回りのことは介助なしに行える          |
| 3 | 何らかの介助は必要とするが、歩行は介助なしに行える |
| 4 | 歩行や身体的要求には介助が必要である        |
| 5 | 寝たきり等常に介護と見守りを必要とする       |
| 6 | 死亡                        |

## 5-2 平成25年度横浜市のt-PA治療実績と 市販後調査成績との比較



## 6-1 平成25年度横浜市のt-PA治療実績と 国内外の市販後調査成績との比較

下記の表は、EUの市販後調査成績(SITS-MOST)と比較するために、横浜市の治療実績を再集計したもの(J-MARSの結果も再集計したものを引用)。

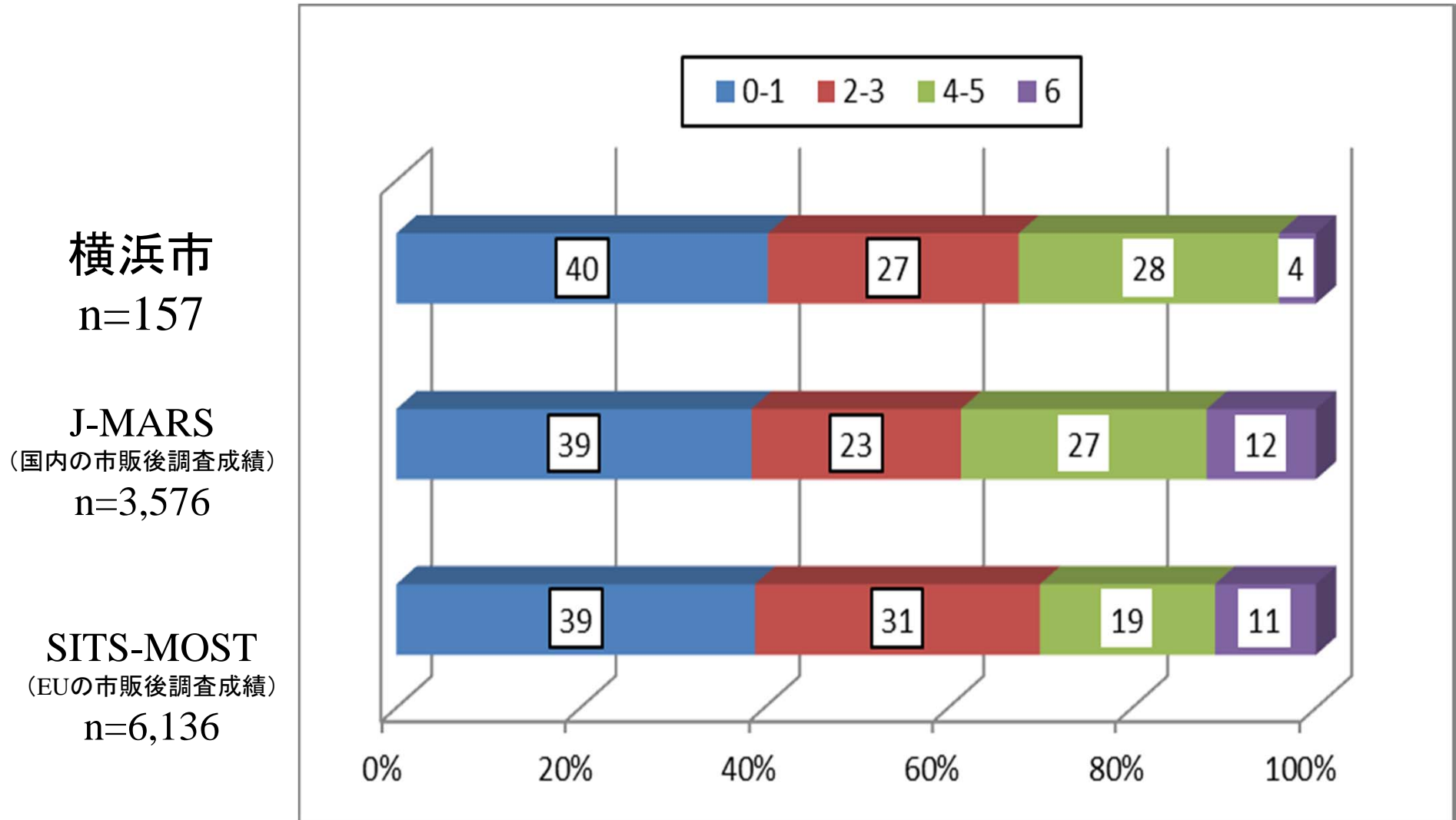
再集計の対象患者は、「18歳から80歳まで」及び「搬送時のNIHSS(※)スコアが25未満」の2つの条件を満たす者。

|  | mRS【3か月後】 |     |     |     |
|--|-----------|-----|-----|-----|
|  | 0-1       | 2-3 | 4-5 | 6   |
| 横浜市<br>【n=157(全症例数の約55%)】                  | 40%       | 27% | 28% | 4%  |
| J-MARS(国内の市販後調査成績)<br>【n=3,576(全症例数の約72%)】 | 39%       | 23% | 27% | 12% |
| SITS-MOST(EUの市販後調査成績)<br>【n=6,136】         | 39%       | 31% | 19% | 11% |

### ※ NIHSS

世界共通で使われている神経症状の評価尺度の数値で、t-PA治療前に意識水準や麻痺の程度などの15の項目についてチェックをして点数化したもの。症状がなければ0点、一番重症度が高いものは40点となる。

## 6-2 平成25年度横浜市のt-PA治療実績と 国内外の市販後調査成績との比較



## 7 その他

**J-MARS**（調査期間：平成17年10月から平成19年10月）

日本国内で行われた発症3時間以内の脳梗塞に対するt-P A静注療法の市販後調査。

**SITS-MOST**（調査期間：平成14年12月から平成18年4月）

EUで行われた発症3時間以内の脳梗塞に対するt-P A静注療法の市販後調査。